

平成26年11月21日

嬉野市議会

議長 田口 好秋 様

産業建設常任委員会報告書

産業建設常任委員会

委員長 辻 浩一

平成26年9月議会において付託された下記事件の調査結果を、嬉野市議会会議規則107条の規定により報告する。

付託事件名 市内の砂防ダムについて

「調査理由」

平成26年11月4日

近年全国的に大雨や集中豪雨による土石流災害が発生しており、市内においても今年7月の大雨により、急傾斜地や農地また道路の崩壊が発生した。今後も地球温暖化による大雨やゲリラ豪雨などによる土石流の発生が予想される。そこで土石流被害の予防となる市内砂防ダムの現状について、計画地・建設着工地・竣工地の現地調査を行った。

調査箇所は次のとおり

計画地・・・永石川第1（塩田町谷所）

着工地・・・平山川第2（塩田町谷所）

竣工地・・・俵坂川第1（嬉野町不動山）

「現状」

永石川第1

- ・全体事業費 108百万円
- ・事業年度 H26～H29（予定）
- ・保全対象 人家 8戸、県道100m、市道180m
- ・事業概要 砂防堰堤（本堤工） $H=8\text{m}$ 、 $L=50\text{m}$ 、 $V=1,300\text{m}^3$
溪流保全工 $L=30\text{m}$ ※現在詳細設計中
- ・H26年度 地形測量、地質調査、実施設計、用地調査

「土砂災害警戒区域内に災害時要援護者関連施設（デイサービス施設）在り」

平山川第2

- ・全体事業費 142百万円
- ・事業年度 H24～H27（予定）
- ・保全対象 人家 19戸、県道305m、市道176m
- ・事業概要 砂防堰堤（本堤工） $H=8\text{m}$ 、 $L=61\text{m}$ 、 $V=1,645\text{m}^3$
溪流保全工 $L=72\text{m}$
- ・H26年度 用地買収、立木補償、工所用道路工事、堰堤本体工事、溪流保全工事
「土砂災害警戒区域内に災害時要援護者関連施設（保育園・グループホーム）在り」

俵坂川第1

- ・全体事業費 250百万円
- ・事業年度 H18～H23年12月完成
- ・保全対象 人家 5戸、国道100m、市道100m
- ・事業概要 砂防堰堤（本堤工） $H=11\text{m}$ 、 $L=60\text{m}$ 、 $V=2,400\text{m}^3$
溪流保全工 $L=25\text{m}$

「委員会の意見」

3箇所とも急峻な溪流を背しており、永石川第1と平山川第2は同規模の規格であった。

急傾斜地や地滑り地帯、農林地崩壊防止などの要望は多いが、砂防ダム建設の実行については、通常目につかない場所が多いためほとんど地元からの要望ではなく行政主導の計画である。

採択については地元の理解と協力が必要であり、砂防ダムの必要性や公共性を日ごろから十分周知することが重要であるとする。

一時期政権交代による国の方針がコンクリートから人への考えから、無駄な公共投資と軽視されたきらいがある。

しかし近年の想定を超える豪雨により甚大な土石流災害が全国的に発生していることや、今後も豪雨の発生が増大する事が予想されていることを考慮するならば、砂防ダムは土石流災害を防止し生命、財産、インフラを守るために有効な手立てであり、国の方針である国土強靱化計画の考え方に沿って積極的に推進すべき施策の一つと考える。